

札幌市のコクホの現状

前のページでは、1年間にかかるみんなの医療費と、コクホに加入する人たちの平均所得で1人あたりの負担する保険料が変わることを学びました。

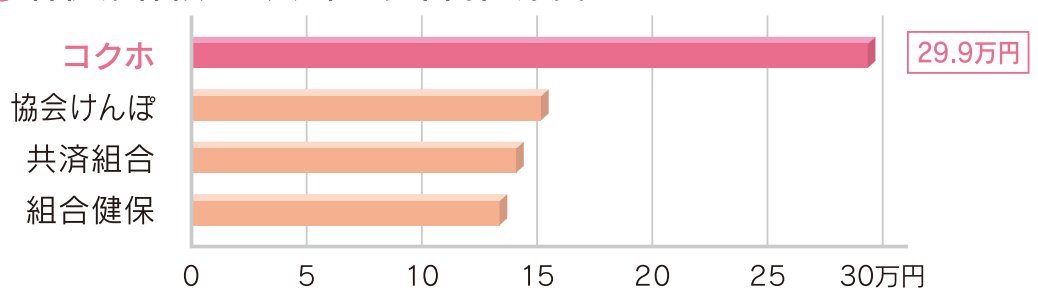
コクホは、市町村単位で運営されるしくみとなっているため、地域によって保険料にちがいができます。次は、札幌市のコクホについてみていきましょう。

全国的にみてもコクホの医療費は高い!



エゾフクロウ先生

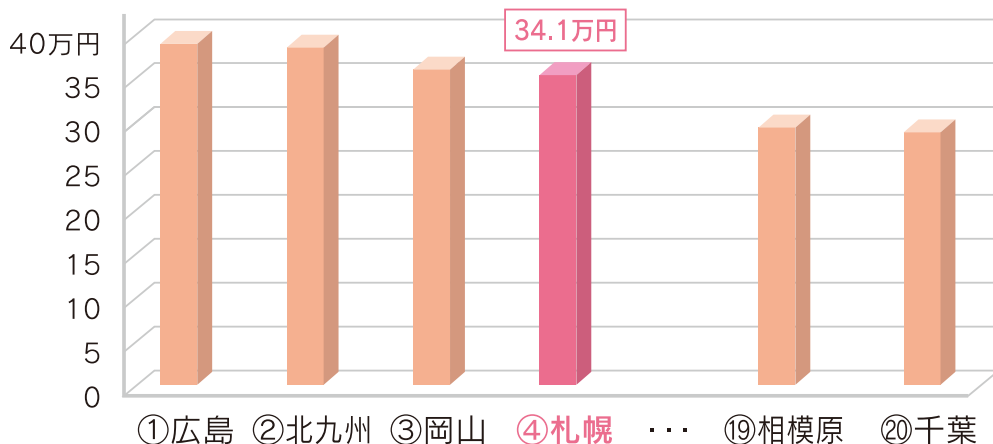
● 各健康保険の1人あたり年間医療費(平成22年度)



コクホには、医療を必要とする機会の多い高齢者が多く加入しているんだ。医療費がかかるとその分集めなければならない額も増えるので、保険料が高くなるよ。

コクホの中でも、札幌市の医療費は高い!

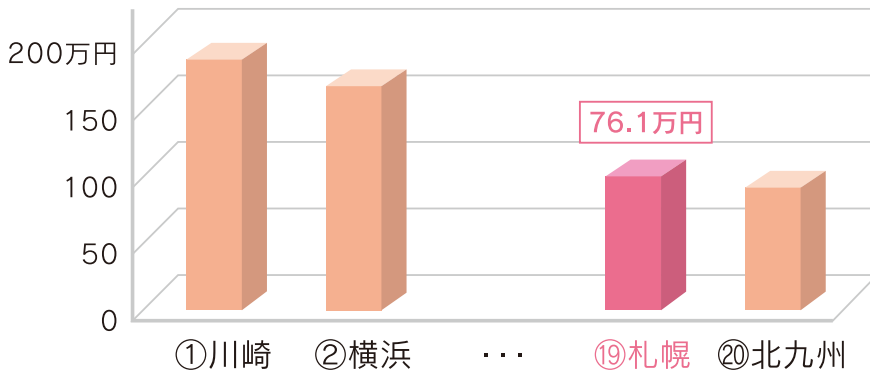
● 政令指定都市コクホの1人あたり年間医療費(平成23年度)



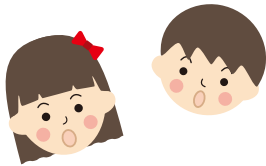
大学病院など大きな病院が多く、最新の治療を受けられたり、入院ベッド数が多く入院しやすいなど高度な医療を受けられる環境が整っているんだ。

札幌市の平均所得は、他の政令指定都市と比べて低い!

● 政令指定都市コクホの1世帯平均所得* (平成22年)



※国の補助金を計算するとき、市町村コクホどうしを比較するための所得。一般的にいう所得より33万円程度低くなっています。

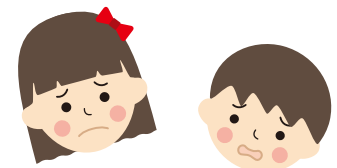
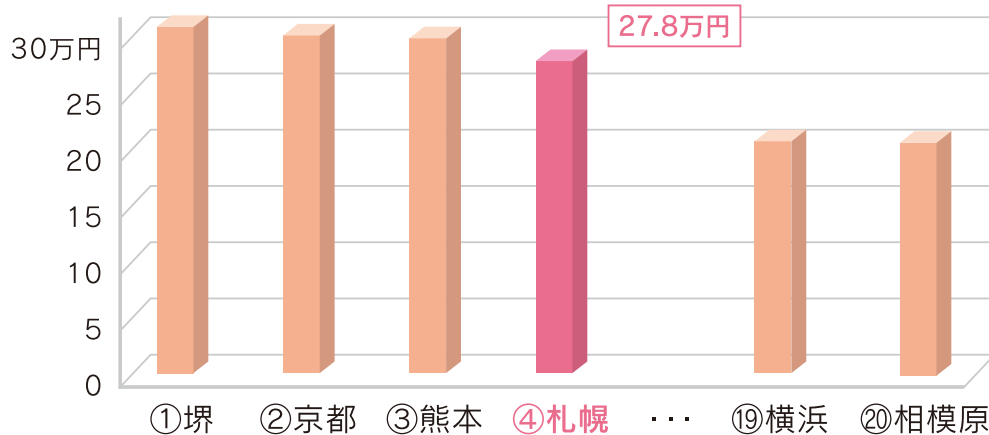


札幌市は、全国に20市ある政令指定都市の中でも、2番目に所得が低いんだ。医療費は高く、平均所得が低い。ということは・・・

札幌市の保険料は、政令指定都市で4番目!

● 政令指定都市コクホの保険料 (平成24年度)

※40歳未満の2人世帯で、給与収入年間300万円 (所得192万円) の場合。



でもね、加入者の負担を少なくするために、色々な取り組みをしてこの金額になっているんだ。